

令和6年度 砺波市当初予算編成について

予算編成方針

●基本的な考え方

令和6年度予算においては、引き続き、「第2次砺波市総合計画（平成29年度～令和8年度）」に基づき、住みよさを更に拡充させ、より魅力的で活力ある安全で安心なまちづくりを展開することとします。

予算要求にあたっては、費用対効果をしっかり見極め既存の全事業をゼロベースから見直すとともに、「事業の選択と集中」を更に推進し、実施すべき事業においてもできる限り経費の節減等に努めるほか、経常経費については、一層の削減に取り組むものとします。

以上を踏まえ、次の方針に基づき予算編成を実施いたします。

1 「第2次砺波市総合計画」の実現に向けた着実な事業展開

総合計画では、市の将来像を「～庄川と散居が織りなす花と緑のまち～ もっと元気 ほんとと安心 ずっと幸せ “やっぱり砺波”」とし、清流「庄川」と豊かな「里山」、そして「散居」に育まれた美しい「花と緑のまち」を将来に継承するとともに、全ての市民が住みよさや幸せを実感できる、いつまでも暮らし続けたい「選ばれるまち砺波」を目指している。

令和6年度は「第2次砺波市総合計画（後期計画5年間）」の3年目にあたることから、着実な事業展開と財政の健全化の双方を更に強く推進する必要がある。

特に、子育て支援や防災対策、情報発信など、総合計画後期5年間で重点的かつ優先的に実施すべき施策である「10WAVEプロジェクト」については、その波及効果も期待しながら、事業の着実な進捗に努めることで、本市の豊かさ暮らしやすさに更に磨きをかけるものとする。

については、「10WAVEプロジェクト」事業には優先的に予算付けを行う方針であり、総合計画実施計画で示す一般財源を超えない範囲において、既存事業等との組替えなどにより新規・拡充の10WAVEプロジェクト事業についても、積極的に取り組むものとする。

- WAVE 1 【つなぐ】子育て応援プロジェクト
- WAVE 2 【拓く】質の高い学びプロジェクト
- WAVE 3 【支える】健康づくりプロジェクト
- WAVE 4 【選ばれる】となみ（1073）暮らし応援プロジェクト
- WAVE 5 【魅せる】情報発信プロジェクト
- WAVE 6 【備える】地域防災力プロジェクト
- WAVE 7 【活かす】生活基盤等マネジメントプロジェクト
- WAVE 8 【結ぶ】地域公共交通プロジェクト
- WAVE 9 【稼ぐ】産業振興プロジェクト
- WAVE 10 【受け継ぐ】循環型社会プロジェクト

2 新たな潮流に対応した諸施策の推進

コロナ禍を経て社会全体のデジタル化が加速し、市民の生活様式や働き方は大きく変わり始めている。行政においても、これまでの事業のあり方を見直し、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進していくほか、脱炭素（カーボンニュートラル）の実現を図り、自然と人間が共生する持続可能な循環型社会の構築に取り組む必要がある。

このため、**WAVE 10【受け継ぐ】循環型社会プロジェクト**とともに、**DX関連事業**について、「**10WAVEプロジェクト**」に準じて優先的に予算付けを行うものとする。特に、一時的に経費が増加するケースでも、一定期間内に経費分の回収が見込まれるものや、国の方針で全国的に取り組むことが求められているような事業については考慮する。

3 砺波市行政改革大綱に基づく「行政サービスの最適化」の推進

「砺波市行政改革大綱」に基づき、地方自治の運営における“最小の経費で最大の効果を挙げる”という基本原則に立ち、「まちづくり」、「行政サービス」、「財政運営」の視点から、サービスの質・量・手法等を最適な状態にする「**行政サービスの最適化**」を更に推進するものとする。

- (1) 市民の視点に立った協働の「まちづくり」の推進
- (2) 時代の変化に対応した効果的で質の高い「行政サービス」の推進
- (3) 健全で持続可能な「財政運営」の推進